

1. 科目名 (単位数)	多文化理解入門 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1135 GELA1335
2. 授業担当教員	アルト ヨアヒム (Joachim Alt)		
4. 授業形態	講義、ペアワーク、グループ学習、グループ発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	全学部学生対象		
7. 講義概要	<p>現代はグローバル化の影響で以前にもまして人やモノが国境を越え移動するようになり、文化背景が異なる他者が日常の中で身近に存在している。その一方、文化を共有している人々の間では常識であることも、文化背景が異なると相手は自分と同じ考え方をするとは限らないし、自分とは異なった行動をすることもあある。そのような文化の違いにより誤解などが生じることもあるため、「文化」の影響について知ることは多文化共生のために特に大切である。</p> <p>本講義では異なった文化背景を持つ様々な他者の理解を深めると共に、自文化、つまりは自分について理解することも目的とする。自分とは異なる文化背景を持つ他者に向かい合うことで、自分と自分が属する文化への理解を深めていく。また多文化理解を促進する態度や技能を個人ワーク、ペアワーク、グループディスカッションを通し身につけていく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「文化」という概念についての理解を具体例を通し、説明できるようになる。</li> <li>2. 自分とは異なった背景を持つ他者について理解できるようになる。</li> <li>3. 自分自身の「文化」的背景への気づきを高め、「文化」がもたらす影響を意識できるようになる。</li> <li>4. 多文化理解を促進する態度や技能を身につける。</li> <li>5. 多文化共生社会の実現のために自分ができていることを自分なりに考え意見をいえる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	<p>授業の内容が重なるので、授業内のディスカッションに参加できるように、前回の授業の復習および次回の授業の資料の確認が必要。</p> <p>他のは中間発表の準備と期末レポートの執筆。</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	教科書を利用しない。毎回の授業で利用するパワーポイントのスライドを事前に提供する。印刷は各自で自由。参考書を必要に応じて授業内に指摘する。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「文化」という概念についての理解を具体例を通し、説明できるようになったか。</li> <li>2. 自分とは異なった背景を持つ他者について理解できるようになったか。</li> <li>3. 自分自身の「文化」的背景への気づきを高め、「文化」がもたらす影響を意識できるようになったか。</li> <li>4. 多文化理解を促進する態度や技能を身につけることができたか。</li> <li>5. 多文化共生社会の実現のために自分ができていることを自分なりに考え意見をいえるようになったか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業への参加態度 総合点の 30%</li> <li>2 試験 (小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の 30%</li> <li>3 提出課題 (レポート等) 総合点の 40%</li> </ol>		
12. 受講生への メッセージ	この授業では多文化社会に必要な異文化理解のための基礎について考察する。学期の前半に「文化」とはそもそも何か、なぜ自分の文化と他者の文化が異なるか、などの質問を触る。ここまで学んだことに基づいて、中間発表を行ってもらおう。そして学期の後半には現代社会に文化に関わった問題についてのディスカッションを進める。学期末に期末レポートを書いてもらう。この授業の目的として、受講者の皆さんは「文化」とは何か、具体的に分かるようになって、文化と社会のつながりを理解できるようになることだ。		
13. オフィスアワー	未定のため、初回の授業中にお知らせする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション・授業の要約・イントロダクション	事前学習	シラバスを確認。
		事後学習	授業についての質問などの確認。
第 2 回	文化を定義する	事前学習	今回の授業の資料の確認。
		事後学習	授業の復習とメモの整理。
第 3 回	文化の多様な種類	事前学習	今回の授業の資料の確認。
		事後学習	授業の復習とメモの整理。
第 4 回	他者の文化、自分の文化	事前学習	今回の授業の資料の確認。
		事後学習	授業の復習とメモの整理。
第 5 回	国と文化	事前学習	今回の授業の資料の確認。
		事後学習	授業の復習とメモの整理。
第 6 回	他国と自国	事前学習	今回の授業の資料の確認。
		事後学習	授業の復習とメモの整理。
第 7 回	ステレオタイプ	事前学習	今回の授業の資料の確認。
		事後学習	授業の復習とメモの整理。
第 8 回	中間発表	事前学習	発表を準備する。
		事後学習	ご自分の発表の良かったところ、良くなかったところを確認する。
第 9 回	マイノリティ・マジョリティ	事前学習	今回の授業の資料の確認。
		事後学習	授業の復習とメモの整理。
第 10 回	文化とコミュニケーション	事前学習	今回の授業の資料の確認。
		事後学習	授業の復習とメモの整理。

第11回	多文化社会の要約	事前学習	今回の授業の資料の確認。
		事後学習	授業の復習とメモの整理。
第12回	21世紀における文化と社会問題	事前学習	今回の授業の資料の確認。
		事後学習	授業の復習とメモの整理。
第13回	文化の盗用	事前学習	今回の授業の資料の確認。
		事後学習	授業の復習とメモの整理。
第14回	文化についての自分の考えの再確認	事前学習	今回の授業の資料の確認。
		事後学習	授業の復習とメモの整理。
第15回	レビュー・フィードバック・ディスカッション	事前学習	不明点を確認できるように、メモのチェックを行う。
		事後学習	授業のメモを確認して、期末レポートを書く。